

令和元年度 第1回石巻市被災者自立再建促進対策本部会議要旨

日時：令和元年5月21日（火）

会場：防災センター

[報告事項]

(1) 仮設住宅解消に係る進捗状況について

ア 仮設住宅概要 [5月8日時点]

- ・プレハブ仮設住宅入居 14世帯（18戸、36人）
- ・みなし仮設住宅入居 6世帯（12人）
- ・その他県外等入居 4世帯（8人）

- ・プレハブ仮設団地解消数 127団地
- ・ 〃 解体団地 105団地
- ・ 〃 入居団地 7団地

イ プレハブ仮設住宅入居世帯の再建（退去）時期見込み [5月8日時点]

- ・R1年度 再建（退去見込み）

5月～9月 再建予定	時期未定	計
12世帯	2世帯	14世帯

内訳				
特定延長 対象外	特定延長 (H31.3末期限)	特定延長再延長		
		復興公営 (蛇田)	災害公営 (東松島)	自宅建築
3世帯	3世帯	1世帯	1世帯	6世帯
		8世帯		

ウ 自立再建促進プログラムの主な指標の推移

・I 住まい

仮設の入居率がプレハブ仮設は約1%、みなし仮設2%、また住宅再建（Q復旧復興が遅れていると感じる事業）30%程度減少など住まい再建が順調に進んでいることを表している。

・II 健康・福祉

「体調が大変良い・まあまあ良い」と感じる世帯が仮設、復興住宅の入居者共に前年度より体調が良いと感じる世帯が1.3%増加している。

・Ⅲ暮らし向き

各種産業の再生・雇用の創生（Q復旧・復興が遅れていると感じる事業）、市内で多くの方が働く場の創出（Q将来のまちづくりで特に重要と思う事業）について、減少傾向であり、落ち着いた生活を取り戻していることを表している

・Ⅳコミュニティ

各地域のコミュニティの再構築（Q復旧・復興が遅れていると感じる事業）、互いに助け合う地域コミュニティの形成（Q将来のまちづくりで特に重要と思う事業）新しい再建先でのコミュニティの構築については、今後の課題として懸案されている事項である。

[主な質疑応答]

Q 参考資料解体・復旧予定一覧にある復旧方法のA～Cとは。

A Aは基本的な普及方法であり、アスファルトと砂利を撤去し山砂を敷く、Bは公園の復旧でグラウンド、公園用の土、Cは芝を張って戻す方法となっている。

Q 資料2にある特定延長（再延長）世帯への対応状況について、区画整理となっている世帯の状況は。

A 区画整理の対象は2世帯おり、1世帯は本年8月に完成予定、もう1世帯は再建予定の土地の整備は終わっているが、隣接する道路が拡幅工事中であり、道路工事が完了してから自宅建設する予定のため、再建時期が未定となっている。

この1世帯については、今後、仮設の解体スケジュールに影響がでる場合もあるため、報告したもの。

(2) 「石巻市被災者自立再建促進プログラム」の取組・成果報告書について

石巻市震災復興基本計画に基づき、現状と課題を整理し、具体的な支援を実施するために、策定された石巻市被災者自立再建促進プログラムの取組と成果を、今後の支援に生かすためまとめたもの。